



# ふじえだ 市議会だより

題字：げんきむら 加藤さん



梅雨の晴れ間（東町）  
撮影：金森 一男さん

Vol.  
222

令和4年6月5日



# 新しい市議会が スタート!!



藤新会  
植田 裕明  
うえだ ひろあき

当選6回  
瀬古  
4K施策（健康・教育・環境・危機管理）を強く支持いたします。



公明党  
大石 保幸  
おおいし やすゆき

当選6回  
前島  
さらに住みよい藤枝市を目指し議員活動に取り組んでまいります。



藤新会  
小林 和彦  
こばやし かずひこ

当選4回  
高洲  
市民に寄り添い、安全・安心の為に、最善を尽くします。



藤新会  
山根 一  
やまね はじめ

当選3回  
平島  
大役を担う今期は将来を見据えた街づくりを出来るよう務めます。



藤新会  
油井 和行  
あぶらい かずゆき

当選3回  
駅前  
「和をもって尊しとなす」を心に、笑顔と元気で夢を届けます。



藤新会  
多田 晃  
ただ あきら

当選3回  
大東町  
「藤枝はもっとよくなる！」を実現するために和衷協同で取り組みます。



藤新会  
神戸 好伸  
かんべ よしのぶ

当選2回  
中ノ合  
確実な言動は、現状の問題把握→解消検討→実行の繰り返しから。



藤新会  
深津 寧子  
ふかつ やすこ

当選2回  
仮宿  
今も未来も住んで良かったと思える街となるよう力を尽くします。



藤新会  
山川 智己  
やまかわ ともき

当選2回  
岡出山  
若さと体力と行動力で『今よりさらに、藤枝を前へ!』進めます。



藤新会  
藪崎 正幸  
やぶさき まさゆき

当選1回  
岡部町桂島  
老若男女、誰もが市政を語り合う藤枝市にしていきたい。



藤新会  
大石 心平  
おおいし しんぺい

当選1回  
青葉町  
新人としての感性を生かし、より良い藤枝市のために頑張ります。



これまでのICT支援員の配置に加え、令和4年度は、学校ICTに関する日常的なトラブルや問い合わせ、操作支援、長期休業中に対応するヘルプデスクなどの各種サービスを一元的に対応できる体制を整えることで、教員や児童生徒、家庭へのサポートの充実を図ります。

## 地域包括支援センター運営費

市議会からの提言

高齢者・介護支援の充実を！

16,953万円 → 18,737万円

高齢者の心身の健康保持と安定した生活を支援するため、市内7か所に設置している地域包括支援センターについて、業務遂行能力を高めるため、指導強化するとともに認知症地域支援推進員を配置し、相談体制の強化に努めています。また、地域との連携強化などを目指し、圏域区域の見直しやそれに伴う人員増に取り組んでいきます。



## から予算へ反映

### 対策事業費 経費 事業費

への備えを！

17,000万円



### 藤枝ブランド戦略事業費

市議会からの提言

アフターコロナの景気回復に向けた  
継続、販路拡大を！

450万円 → 500万円

藤枝セレクションのさらなるブランド力向上と発信力強化を図るため、ロゴマークを一新するとともに、大手百貨店や大学等と連携し、認定商品の新たな販路開拓を図ります。



さらに、ふるさと納税の返礼品としても積極的なPRに取り組んでいきます。

2月定例会議会で令和4年度当初予算を審議し、一般会計557億8千万円、特別会計288億1千万円、企業会計301億5千万円を可決しました。予算編成にあたり、市議会の提言が反映された事業をご紹介します。

新規事業

## ICT活用観光推進事業費(うち、ハイキングアプリ開発業務委託料)

市議会からの提言

日本遺産等を活用した観光施策への取り組みで観光交流や観光人口の拡大を！

0万円 → 165万円

日本遺産の構成文化財「葛の細道」とその周辺を散策するハイキングコース「葛の細道・明治の道」と、「とんがりぼう」など観光スポットを巡るコースの2コースを設定し、民間のアプリを使用してデジタルスタンプラリーを実施します。日本遺産の認知度の向上、ファンづくりや観光交流人口の拡大を図ります。



## 学校ICT環境推進事業費

市議会からの提言

小中学校へのICT支援員の増員を！

17,838万円



19,800万円

# 市議会の提言

新規事業

## 企業経営再興サポート事業費

市議会からの提言

ウィズコロナ・アフターコロナの地域経済対策を！

0万円 → 600万円

アフターコロナを見据えた企業経営の再興に向けて、企業の強みや地域資源等を活かした企業間連携による、新商品・新サービス開発等への新たなチャレンジをサポートする体制を構築し、事業計画から市場獲得等まで専門家による伴走型支援に取り組めます。



## 急傾斜地崩壊 河川浚渫 大溝川改修

市議会からの提言

豪雨・土砂災害

13,351万円 →

災害を未然に防止するため、主に二級河川や急傾斜地などを、県と連携して点検し、河川内の堆積土砂の撤去や、がけ崩れ対策を継続して実施します。



藤新会  
松崎周一  
議員



令和4年度施政方針・予算案について

**問** 施政方針で市長が述べられた「自治体の力の見せどころ」という思いについて伺う。

**答** 今般のコロナ禍は少子高齢化を加速させ、加えて、巨大地震や激甚化する自然災害の脅威など、喫緊の対応が必要である。こうしたときこそ、先を見据えた大局的な判断力と迅速な行動力が重要である。大きく社会が変化する今こそ、総合力を発揮し、市民の皆様が幸せを実感できるまちづくりを進めていく。

**問** 市税収入の増収背景について伺う。

**答** コロナ禍で厳しい経済環境であるが、国は地方税収入を前年度比5.7%増と見込んでいる。本市でも企業収益の改善などを見込み、前年度比4.5%、9億円の増を見込んだ。

**問** 組織改編と要員配置方針について伺う。

**答** 新年度の戦略方針「市民生活の総合サポート」と「将来への基盤づくり」のもとに、健康福祉部、産業振興部、都市建設部を主体に改編を行い、重点施策を推進するため要員を強化していく。

**問** 高田・仮宿地区土地開発の将来展望について伺う。

**答** 高田・仮宿地区は東部の重要拠点として、恵まれた交通インフラを最大限に活かした地域づくりを進めているところである。高田の工業団地には6社が進出決定し、現在建設工事が進行中である。仮宿地区では「クリーンセン

ター」が令和8年度の供用開始を目指し進められている。「道の駅」の建設計画、オリーブ産地化事業も進展中である。この高田・仮宿地区一帯に人と仕事を呼び込み、自然と共生しながら交流人口や賑わいを生み出すまちづくりを進めていく。

**問** 次世代型新庁舎整備構想づくりに至った背景について伺う。

**答** 社会は大きな転換期にあり、行政サービスの在り方やゼロ・カーボンへの早急な対応が必要である。時代に即し先を見越して新庁舎の構想作りに着手し、8年後(2030年度)の供用開始に向けて、魅力あふれる次世代型新庁舎の実現を目指していく。

**問** J-クレジット制度の活用促進事業について伺う。

**答** 本市の目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を目指す新規事業として、市内45の制度適用事業所に対し積極的に働きかけていく。

**問** デジタル社会に対応していく人材育成について伺う。

**答** 地域にデジタル支援員等を配置し、スマホ教室や出前講座などを通じ、デジタルデバイド対策と人材育成を図っている。中小企業等は「藤枝市ICTコンソーシアム」と連携し推進していく。



市役所本庁舎



市民クラブ  
鈴木岳幸  
議員



## コロナで疲弊した経済の立直しについて

**問** 市内経済を立て直すための、即効性のある景気・経済対策をどう行うか伺う。

**答** 来年度は新たに職員による企業訪問を実施し、情報を的確に把握し新規事業展開や新分野進出を支援していく。特に市内業者の独自の技術やサービスを首都圏企業のノウハウや革新的技術と融合させた新商品開発に、計画から製造販売まで関与し、専門家によるサポート体制を構築し、支援に取り組んでいく。

**問** 市内経済活性化のため、プレミアム商品券やクーポンなどの発行をする事は出来るか。

**答** これまでも飲食店などに対する消費喚起策を行ってきたが、今後のコロナの状況を見極め、プレミアム商品券やクーポン、キャッシュレス決済のポイント還元なども含め、適時適切に消費喚起策を行っていく。

## スポーツ振興について

**問** 来年度はスポーツ振興をどう行うか。

**答** 今年度は東京オリパラにより市民のスポーツへの関心も高まったが、コロナによりスポーツの機会が失われる事もあった。来年度はこの機運をレガシーとしてスポーツ振興に繋げるようオリンピックなどを招聘し子どもたちに一流の技を見せる機会づくり、サッカー場の改修、スケートパークの拡張などを行い、更なるスポーツの普及促進を図っていく。

**問** スケートパークの拡充はどう行うか。

**答** スケートパークは、五輪の効果で利用者が年間約2千人増

加した。利用者から初心者をもっと気軽に練習できる場所が欲しいとの要望もあり、パーク横にある700㎡の土地に、初心者用のエリアを新たに整備していく。

## 教育日本一を目指す施策について

**問** 学校ICT支援員の役割は非常に大きいですが、増員を行う事は出来ないか。

**答** 来年度は、各学校の教員にICTリーダーになってもらい、関連する課題に対応していただく予定である。7名いるICT支援員増員の予定は現在はないが、今後、一人一台タブレットの効果等を検証し、必要に応じて増員については検討していきたい。

**問** 3つある給食センターが老朽化で整備統合が必要とのことだが、どう計画しているか。

**答** 北部と西部のセンターを統合し、中部のセンターはそのまま使い、2つの給食センター体制で行っていくよう考えている。

**問** 給食センターの数が減ると、子どもの食育に重要な役割を担っている栄養教諭の数が減らされてしまうのではないか。

**答** 栄養教諭はセンターの数によって配置数が決まっており、現在各センターに2名ずつ計6名いる。食育指導の質が落ちないように今いる人数でしっかり対応していきたい。



藤枝スケートパークに初心者エリアが増設されます！！



志大創生会  
遠藤久仁雄 議員



令和4年度藤枝市重点戦略事業のうち、健やかに暮らし活躍できるまちを創るを問う

新学校給食センター整備事業

**問** 現在稼働中の3カ所の学校給食センターが老朽化し、新給食センターの建設が急がれている。3つの給食センターは、何カ所に統合されるのか。

**答** 現在、基本構想・基本計画を策定しており、老朽化の進む西部及び北部学校給食センターを統合して、新給食センターと、現中部学校給食センターとの2センターで、学校給食を提供していく方針である。

**問** その場合現在の地産地消は守られるのか。

**答** 積極的に地産地消を進める方針に変わりはない。現在、市内農家の減少が続く中、食材の確保に向け、本市農産物を始め、近隣を含めた県産品の利用の拡大を進めている。新たな農産物の利用、発注方法や本市農産物の加工品化による年間を通じた利用など、様々な方法を研究していく。

**問** アレルギー対応食は、100%安全に提供されるのか。

**答** 新しく整備する給食センターには、アレルギー対応食を提供するための専用の調理室を設置する。対応品目などの具体的な検討を行い、多くの児童生徒がアレルギーを気にすることなく、安全安心な学校給食を楽しめるよう調理室の設計を進めていく。

特別支援教育支援員等活用事業

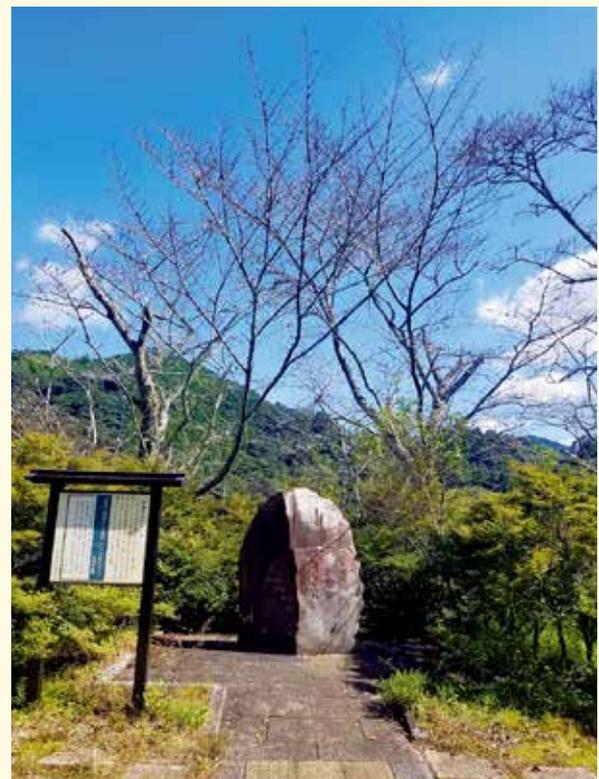
**問** 現在、市内の小中学校に配置されている73名の特別支援教育支援員が、来年度64名となる。そしてその一方で10名の登校支援教室指導員が中学校に配置される。これは不登校の多い中学校の実態に対応したものとするが如何か。

**答** 全国的にも不登校生徒が多い中学校の実態に配慮した施策である。学校へは登校するものの、教室に入れない生徒の居場所を確保し、個別に教員資格を持った支援員が対応する計画である。

村越化石生誕100年記念事業

**問** 化石氏の生誕100年を記念して式典が行われる計画であるが、大切なことは、私たち藤枝市民が、化石氏から何を学んだらよいかだ。私は「強い生命力」「愛郷の精神」「清らかな心」の3つを推奨するが、当局の考えをお聞きする。

**答** 化石氏はハンセン病の後遺症で失明となった後も、心の眼で俳句を詠み続けた。病に伴う苦しみを克服して生きようとする強い生命力、少年時代まで過ごし自然に囲まれ育った朝比奈を思う強い郷土愛、そして決して自分の不遇を嘆いたり自分の置かれた環境や社会を批判しないという卓越した人間性の持ち主であった。化石氏の業績を広く伝えたいと考えている。



村越化石氏の故郷「玉露の里」の句碑



日本共産党  
石井通春  
議員



## 標題1：来年度の市のコロナ対策 ～住民ニーズ（補償、検査等）に応える対応を～

**問** 3年に及ぶ感染で、多くの住民が疲弊している。来年度予算案はコロナ禍でも増収見込みであり、基金も増増し。感染が拡大する一方で、補償が脆弱になっている。いまこそ、こうした財源を用いて市民への給付や税の減免等に充てるべきではないか。

**答** 今後も国の交付金などを有効に活用し、補正予算や予備費など、真に必要な人に対し取り組んでいく。

**問** ワクチン頼みでは新たな陽性者の発生を防げない。毎日報じられる数十名の陽性者の大半は、感染しても症状が出ない若い人や子どもから感染する家庭内感染だ。そうした人を対象にした陽性者を見つけ出す検査が必要ではないか。

**答** 無症状者への検査は必要。今後も国県の動向を見ながら対応を検討していく。

**問** 複雑な事情を抱える生活困窮者に対応する窓口「自立生活サポートセンター」が来年度から福祉政策課内に新設されるのを歓迎したい。福祉部門だけでなく、税の滞納（納税課）なども関連するが連携が行えるか。

**答** 税の納付や減免を含めた総合的な相談・支援を行っていく。

**問** オミクロン株の流行の主体は子どもであり、保育園で感染が発生すると園の閉鎖、親の休業など影響が特に大きい。厚労省は他の園や公民館などで子どもを預かる「代替保育」制度に通常保育同様の財政支援を市に行う特例措置を決めた。

**答** 現状は維持できているが、特例措置活用の体制整備の検討を早急に開始する。

**問** 学校より密な学童保育は感染の危険性が高いが、対策は学校のマニュアルに基づいている。学校と学童は別であり、指導員の声を踏まえた学童の感染症対策が必要ではないか。

**答** 現場の指導員の声を聞いて策定していく。

## 標題2：「デジタル化」の狙いから自治体に期待される「防波堤」の役割

**問** デジタルを否定しないが、政府が求める自治体デジタル化は何かを認識する事が重要だ。なぜ急ぐのか？政府はその理由を「自治体が持つ住民の個人情報をも様な主体が参照できるようにする事」（平井前デジタル大臣）どんな不景気でも需要がある保育、介護、教育分野の住民個人情報をビジネスに使いたい財界の意に沿ったものである事をあけすけに語っている。現在、市は独自の個人情報保護条例で、本人以外からの情報収集の禁止、市民の訂正請求権など情報を保護する立場を定めている。これから国が統一基準を定めるが、これらが確保されるのか。

**答** 法の規定が効力を持つことになり、その範囲を超えて自治体が独自条例を作る事ができなくなった。

**問** 結局、市の個人情報保護の基準がほとんどなくなってしまう事は否定できない事だ。納税、課税、受給福祉など、プライバシーに関わる情報が住民の知らないまま提供されようとしている。利便性の向上だけで済まされる問題か。

**答** 法改正により個人の権利利益が守られないおそれがある場合は、国への働きかけについても考えていく。

## 標題3：「買物弱者」問題が深刻。 移動販売車の取組を

**問** 日本共産党は、末広、青南町、青葉町住民に「買物弱者」問題のアンケートを実施、同地区の住民は異口同音に不便さを訴えている。市はデマンドバスなどの外出支援に新規予算を組んでいるが、陳列棚から買う商品を選ぶのは「移動販売車」の取組が有用だ。藤枝市と人口がほぼ同じの千葉県野田市では、週2回市内39か所で販売する「まごころ便」が好評。移動販売車の取組が弱いのでは。

**答** 移動販売車は品数や収支について課題があるため、地域やニーズに即した買い物支援の充実を進める。

**問** 赤字を承知で手を挙げる事業者はいない。市からの補助金という支援になるが、お年寄りに買う楽しみくらい与えてあげてもいいのではいか。

**答** 日常の買い物に困難になる人は今後も増えるため、支援策の更なる拡充について、外出支援と併せて買い物支援事業の在り方を整理し検討していく。



公明党  
山本信行  
議員



令和4年度予算編成及び戦略方針について

**問** 「自立生活サポートセンター」と「障害福祉課」創設の効果と狙いについて伺う。

**答** 来年度「自立生活サポートセンター」を設置し包括的な支援体制を確立し、サポートセンターが中心的となり、多様な相談に対し他機関連携を進め、適切な支援に繋げる。また、障がい者福祉に特化した「障害福祉課」設置により、複雑な相談にも対応できる専門相談窓口として醸成を図っていく。

**問** 「子ども・若者支援課」改編による、子どもから若者まで切れ目の無い支援をしていくための取り組みを伺う。

**答** 県内初の試みとして義務教育までの子どもの支援に加え、概ね30代までの若者が自立して暮らせるよう総合的な支援体制が必要と考え「子ども・若者支援課」に改編した。これは、国が今後目指す、子どもから若者までの切れ目の無い支援に合致するもので藤枝市から先進的に取り組んでいく。

今後は、全中学校に登校支援教室を設置するとともに、若者の居場所を開設するなど、虐待やヤングケアラー、引きこもり等の課題や悩みを抱える子どもの支援に、寄り添いながら切れ目なく守り支えていく。

**問** 所有者不明土地問題解消を図る民法や不動産登記法の改正が2023年度から段階的に施行される。これからの取り組みについて伺う。

**答** 法改正により戸籍や住所移動の調査による所有者確認に要する時間短縮が図られ、公共事業や空き家対策において迅速な対応が可能となる。



「総務省 民法の主な改正項目」

また、空き家等から越境した竹木の枝の切り取りも一定条件のもと可能となる。

**問** 登校支援教室設置の狙いについて伺う。

**答** 教室には入れなくても登校できる生徒を対象に、学習の継続や心理的なサポートにより少しずつ集団への生活に適應できることを狙いとしている。

**問** プラスチック新法が4月から施行される。「プラごみ一括回収」について伺う。

**答** 現在、衣装ケースやバケツなどは燃やすごみとしているが、今後、国の「プラスチック使用製品廃棄物の分別収集の手引き」に基づき、来年度中に分別収集が出来るよう処理業者と協議を行い、確実に進めていく。

**問** 危機管理分野について、障がい者用ハザードマップの取り組みの方向性を伺う。

**答** 本市のみならず全国的な課題となっている。本市では、自主防災会の避難支援者を通じて周知をお願いしているが、来年度実施する個別避難計画作成モデル事業等を通じて、さらに強化するとともに、自宅及び地域の災害リスクを点字や音声情報に転換し、個別に提供する方法を検討していく。



## 2月定例月議会で審議された議案

### ◆出席した全議員が認めた議案◆

議案番号	議案名
第1号議案	令和4年度藤枝市一般会計予算
第2号議案	令和4年度藤枝市国民健康保険事業特別会計予算
第3号議案	令和4年度藤枝市土地取得特別会計予算
第4号議案	令和4年度藤枝市駐車場事業特別会計予算
第5号議案	令和4年度藤枝市介護保険特別会計予算
第6号議案	令和4年度藤枝市後期高齢者医療特別会計予算
第7号議案	令和4年度藤枝市病院事業会計予算
第8号議案	令和4年度藤枝市水道事業会計予算
第9号議案	令和4年度藤枝市下水道事業会計予算
第10号議案	令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第8号）
第11号議案	令和3年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
第12号議案	令和3年度藤枝市土地取得特別会計補正予算（第1号）
第13号議案	令和3年度藤枝市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
第14号議案	令和3年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第15号議案	令和3年度藤枝市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
第16号議案	令和3年度藤枝市内陸フロンティア事業特別会計補正予算（第1号）
第17号議案	令和3年度藤枝市病院事業会計補正予算（第2号）
第18号議案	令和3年度藤枝市下水道事業会計補正予算（第2号）
第19号議案	藤枝市情報公開条例の一部を改正する条例
第20号議案	藤枝市個人情報保護条例の一部を改正する条例
第21号議案	藤枝市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
第22号議案	藤枝市消防団条例の一部を改正する条例
第23号議案	藤枝市庁舎整備基金条例
第24号議案	藤枝市都市公園条例の一部を改正する条例
第25号議案	藤枝市民会館条例の一部を改正する条例
第26号議案	藤枝市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
第27号議案	藤枝市内陸フロンティア事業特別会計条例を廃止する条例
第28号議案	藤枝市内陸フロンティア事業基金条例を廃止する条例
第29号議案	藤枝市地区計画区域における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
第30号議案	藤枝市職員定数条例の一部を改正する条例
第31号議案	藤枝市長及び議会議員選挙公報発行条例の一部を改正する条例
第32号議案	辺地に係る総合整備計画の策定について
第33号議案	駿遠学園管理組合理約の変更について
第34号議案	令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第9号）
第35号議案	令和4年度藤枝市一般会計補正予算（第1号）
第36号議案	藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第37号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第38号議案	藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第39号議案	藤枝市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第40号議案	藤枝市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
第41号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について
第42号議案	監査委員の選任について
発議案第44号	ロシア連邦のウクライナへの侵略を非難する決議
発議案第45号	藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例

## 可決された議員発議

2月定例会議会において、議員提出による発議案2件が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。

### ◆発議案第44号

ロシア連邦のウクライナへの侵略を非難する決議



### ◆発議案第45号

藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例



## 人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意しました。

### ◆第41号議案

固定資産評価審査委員会委員

横山 吉孝さん（高洲）

### ◆第42号議案

監査委員

鈴木 正和さん（泉町）



## 議員発議により「ロシア連邦のウクライナへの侵略を非難する決議」が可決

去る2月24日、国際社会の懸命な外交努力にもかかわらず、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始した。この力による一方的な侵略行為は、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法違反であるとともに、国際秩序の根幹を揺るがす行為として断固として非難するものである。

また、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、他国からの批判や制裁に対抗する姿勢を見せていることは、非核平和都市宣言を行い、世界から核兵器の根絶を

目指している本市にとって、断じて容認できない行為である。

武力による圧力で、国の主権や人々の自由、生命を踏みにじる戦争は、報復という負のスパイラルにより世界平和の崩壊を招きかねない。

本市議会は、ロシアが直ちに戦闘を停止し、軍を撤退するよう求めるとともに、世界平和の実現に向けて、全世界が一体となって全力を挙げて取り組むよう、強く訴えるものである。

# 常任委員会審査レポート

## ピックアップ!

### 総務文教委員会

#### 第25号議案

#### 藤枝市民会館条例の一部を改正する条例

市民会館に短焦点レーザープロジェクターを導入したことによる条例の改正。

至近距離での投影が可能となるため、演者の影をスクリーンに生じさせないことができること、また、その特徴から設置場所の自由度が高まるなど、利用者の利便性の向上が認められるため、委員会としても可決すべきものと判断しました。

本会議  
可決



### 健康福祉委員会

#### 第2号議案

#### 令和4年度 藤枝市国民健康保険事業特別会計予算

#### ～特定健康診査等事業費～

特定健診の受診率向上に向けた取り組みとして、健診の予約をスマートフォンからも簡易な方法でできるように調整している。また、集団健診方式については、人が集まることになるため、集団健診以外の方法についても検討していくとのことであり、委員会としても可決すべきものと判断しました。

本会議  
可決

### 建設経済環境委員会

#### 第1号議案

#### 令和4年度藤枝市一般会計予算

#### ～令和4年度供用開始をめざし、 志太中央幹線（左車工区）工事中～

令和4年度に供用開始をめざし、葉梨地区側の完成区間からの延伸となる旧国道1号（県道島田岡部線）までの左車工事区間の工事が、県の事業として進められています。志太中央幹線は、国道1号藤枝バイパス藪田西インターチェンジから大井川に架橋する「はばたき橋」を結ぶ重要な幹線道路で、市内の主な渋滞発生箇所の解消、交通機能の強化による産業や物流機能の向上につながるストック効果の高い道路であり、委員会では可決すべきものと判断しました。

本会議  
可決



▲志太中央幹線工事(左車工区)現地審査のようす



志太創生会

平井 登 議員



## オーガニックビレッジ宣言で 藤枝を有機の里に

**問** 本市の有機農業について、  
取組農家数、栽培品目、栽培面積及び耕地全体に占める割合を伺う。

**答** 経営体は91あり、全経営体の8.5%である。栽培面積は122.8haで全経営耕地面積の12.6%を占める。品目は、お茶が約60%、水稻が約26%である。経営体数は浜松市、静岡市に次いで3番目、栽培面積では、浜松市に次いで2番目と、有機農業の先進市になっている。

**問** 本市の基幹作物である緑茶は、海外での新市場開拓が期待されている。相手国の検疫体制に対応するには有機栽培への転換が不可欠であるが、JAS法に基づく有機認証取得の促進施策について、取組状況を伺う。

**答** 平成30年度より有機JAS認定及び残留農薬検査に係る経費の助成を累計10団体17件、また、有機茶園への転換を支援する藤枝市有機茶レンジ支援事業では4団体の茶園約3.4haに助成した。

**問** 2050年までに国が目標とする全耕地面積に占める有機栽培面積の割合25%の達成に向け、本市はどのような取組を進めていく考えか伺う。

**答** 環境保全型農業直接支払交付金や藤枝市有機茶

レンジ支援事業の利用拡大を促進するとともに、スマート農業の普及も推進する。また、生産、加工、流通、消費までの全方位の取組を、今後構築する有機農業推進体制の中で検討し、「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用していく。

**問** 国は、「みどりの食料システム戦略」推進のため、モデル的先進地区「オーガニックビレッジ」を2025年までに全国100市町村を創出するという。持続可能な農業、未来の農業の姿を見据えながら有機栽培に取り組んでいる生産農家はもとより、市民レベルでのオーガニック推進活動が盛んな本市こそ、全国に先駆けてオーガニックビレッジ宣言を表明されたいが、見解を伺う。

**答** 本市が総合的な戦略をもって、有機農業の振興に取り組む姿勢を内外に示すものとして、提案のオーガニックビレッジの名乗りを上げていきたい。



住民側による物件登録促進体制を提案した配布資料

QRコードを読み取り動画をご覧ください。



藤新会

山川 智己 議員



## 旧市街地総合再生エリアと 周辺拠点について

**問** 蓮華寺池公園の今後の利活用をどう考えていくか。

**答** 蓮華寺池公園でのボランティア活動を行う「蓮華寺サポーターズ制度」を創設し、市民の皆様との協働による魅力づくりを進める。活動については、園内の花壇への「花」の植栽活動と、園内のベンチや遊具の「清掃や美化」活動が主なものとなり、3月より募集開始、4月からの活動開始を予定している。

**問** 令和4年2月から運用を開始している「パークフル」の活用について。

**答** 公園魅力情報発信アプリ「パークフル」を活用していただけるよう情報発信に努め、利用者投稿機能によって新たな魅力の発見に期待し、さらなる事業展開につなげていく。

**問** 当該エリアのまちづくりのビジョンと取り組みについて。

**答** 日本遺産認定を受けた地域ブランドを効果的に活用しながら、蓮華寺池公園や岡出山公園を核に、旧東海道を快適で情緒あふれる歩行空間で結び、「歩きたくなる」まちを目指し、エリア内の回遊性を向上させていく。  
官民が連携し、公共空間の再整備やリノベーション、また、仕事・住まい・遊び・学びが融合した空間作りにより、エリア全体の価値を高めていく。具体的には、中央小学校跡地グラウンドやシルバー人材センター周辺、藤枝中学校脇の市営住宅跡地などの公有地の活用を今後検討していく。



蓮華寺池公園の滝の広場（上空より）



公明党  
大石 保幸 議員



## 行政手続き改善への 取り組みについて

**問** 国では「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げ、全ての方が情報通信技術の恩恵を受けられるよう、情報格差の是正に取り組むことを求めています。藤枝市の対応について伺う。

**答** 市ではデジタルの活用によって安全・快適・便利で豊かな暮らしの実現を目指していく事としている。格差の是正としてデジタルに不慣れな方や不安のある方には、市役所窓口での申請書記入の省略化や情報の一元化に取り組み、来庁者にとって便利で負担が少なく安全なサービスの提供を目指していく。

**問** 市役所窓口で申請書の記入が不要な「書かない窓口」への取り組みはどのような状況か。

**答** マイナンバーカードがあれば申請書の記入が不要な「申請書作成支援システム」を令和元年11月より市民課窓口を導入し住民票や印鑑証明書の発行、子育て関連の手続きなどに運用している。また、亡くなられた方のご遺族の手続きをワンストップで完結できる「ご遺族手続き支援コーナー」を他市に先駆けて設置した。今後も市民にとって利便性の高い窓口を実現するため、国のデジタル田園都市国家構想と連動させながら全庁横断的な環境づくりを早期に実施していく。



市役所東館1階に設けられた「ご遺族手続き支援コーナー」



藤新会  
深津 寧子 議員



## 道路整備について

**問** 都市計画道路・幹線道路の整備状況 および、今後の計画を伺う。

**答** クリーンセンターの稼働や藤枝バイパス4車線化事業の進捗に合わせ、仮宿下付田高田線と天王町仮宿線の整備を進めており、順次供用開始を目指す。渋滞対策効果のある志太中央幹線は島田岡部線（旧国道1号）から上青島焼津線までの事業化見通しがついた。社会情勢の変化、市民ニーズや財政状況を把握しながら、持続可能な都市基盤となりえる道路ネットワークを構築していく。

**問** 道路整備の早期実現に向けて、どのような対策を講じているか伺う。

**答** 財源の確保を含めた計画的な進捗が必要であり、国に事業採択されることが最も重要になる。



志太中央幹線  
左車から天王町方面



天王町仮宿線  
仮宿工区

## 小規模保育所について

**問** 今後の施設の在り方についてどのように考えているのか伺う。

**答** 少子化・働き手の減少により、運営の継続が課題であると感じている。国の人材確保・公定価

格の見直しなどの提言を踏まえ、事業者と共によりしっかりと考え、子どもたちの健やかな成長の場が確保されるよう、保育の質の維持・向上に向けた支援策などを検討していく。



志太創生会  
増田 克彦 議員



## 本市における業務継続計画 (BCP) について

**【本市の取組について】**  
**問** 市役所庁舎の被害分析は？  
**答** 高い耐震基準を満たしており南海トラフ地震が発生

しても業務を継続できると考えるが、万が一の備えとして耐震性能が同ランクの岡部支所を代替庁舎として位置付ける。

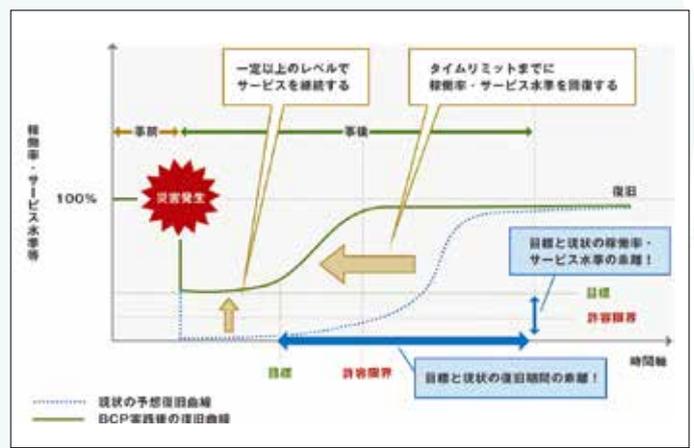
**問** 本計画の公開の予定は？  
**答** 市民の安心感を確保し、また市民などからの意見を得ることができるため、本市ウェブサイトで公表していく。

**問** 計画の充実に向けた今後の取組は？  
**答** 設備のさらなる充実を進めるとともに、代替職員・代替施設を活用した訓練を行うことで計画のレベルアップを図る。

**【市内事業者の取組について】**  
**問** 市内事業者のBCPへの取組状況は？  
**答** アンケートでは約7割が未策定だが、本市と藤枝商工会議所、岡部町商工会による計画策定支援強化の結果、今年度の新規策定支援件数は昨年度の4件から大幅に増加し

て28件となった。  
**問** 「藤枝市中小企業強靱化支援事業費補助金」の利用状況は？  
**答** 2月末現在、17事業者が補助制度を活用した。

**問** 今後の本市の取組は？  
**答** 関係機関と連携してセミナーや個別相談会を開催し、BCP策定支援と本市の補助金制度活用を積極的に推進する。



BCPのもたらす効果



日本共産党  
大石 信生 議員



## 「思考を他人(ひと)に預ける」手法に歯止めを(外部委託について)

**問** 最近の市の仕事はほとんどが委託になり、市の根幹をなす事業でさえ市が主体でやらないで、外部委託が多い。このことは市が主体性を放棄し「思考を他人に預ける」やり方であって、職員が自らの頭で考え、実践を重ねることで蓄積される職員の力量、言い換えれば「市の力」が失われる。例えば茶業振興の予算はわずか1千万円(一般会計の0.0002%弱)で、このうち7割が市茶振興協議会に委託

され、市は主体的に何もやっていない。市民文化祭も市が主体でやらず、市文化協会に委託している。これでは主産業のお茶は、じり貧になり、市民の文化・芸術活動は、発展させられないのではないか。

**答** 市が主体的にかかわりながら、茶業振興も文化・芸術力も向上してきていると考える。  
**問** 委託するということは外部に任せることで、主体的にかかわれなくすることだ。つぎに聞くが、原発避難計画も国がつくった枠へはめ込むだけ。他人の思考を借りた絵空事だ。避難は原則自家用車というが、道路はたちまち渋滞、避難先に駐車できないから、空飛ぶ自動車で、空間駐車可能車でなければ、無理な話ではないか。

**答** 来年度以降避難訓練を実施し、計画の検証や課題を抽出し、避難方法や体制を確立していく。

**問** 学校給食センターの統合問題でも、肝心の基本構想・基本計画はコンサルタントに丸投げされる。発達障害の子どもが増え続ける背景に、農薬の影響が指摘され、地産地消の安心食材が切実に求められているのに、不向きな大規模センター化が市民不在で進む。教育委員会は市民の意見を聞くと議会で答えたが、聞かなかった。

**答** 校長、PTA代表、アレルギー児童生徒保護者代表の委員会、アンケートで市民の意見は聞いた。

**問** 市の根幹をなす政策まで「他人の思考」を借りることが続けば、私がスマホをひとにやってもらって実力がつかないように市職員の実力はつかず市の宝が失われる。歯止めが必要だ。

**答** 安易に外部委託しない。市の責任は果たす。



西部・北部は、中央の東側(田)に統合。事実上一つの巨大給食センターになる。



市民クラブ

川島美希子 議員



**問** 冬休みにお弁当配達の実証実験を行った。成果と、課題は？

**答** 保護者のニーズは高く、子育て支援策として有効であった。価格やメニューの改善、指導員の負担などは課題。今後事業改良し、サービス導入を進める。

**問** 来年度、葉梨小学校区に50人定員、広幡小学校区に100人定員の施設が新設されますが、お迎え時の安全面は充分か？

**答** 今後は入会のしおりに安全確保について明記し、出入り口の交通整理員の追加配置など、渋滞緩和と安全対策を強化する。

**問** 令和4年度の入会決定通知の状況は？

**答** 2月1日時点で、入会申し込みは1,486名、入会決定は1,357名。入会保留は129名。3月末に決定する。

**問** 「小1の壁」と言われますが、開所時間が18時までだと、キャリアアップや正規雇用希望して

## 放課後児童クラブの充実化 弁当配達事業・19時までの延長

いても思うように働けない。この小1の壁を崩せないのか？静岡市は83ヵ所すべて19時である。子育てするなら藤枝市と言えはこそ19時閉所にすべきだと思うが、変更できない理由は何か？

**答** 指導員の確保が大きなハードルとなっている。

**問** 本市の指導員は時給が他市と比べ低いと思う。処遇改善や、人材確保策を具体的に考えていけないか？

**答** 処遇改善も予定している。Wワークのスタイルとして、短時間勤務の枠を考えると、人材確保に積極的に取り組んでいく。



令和4年度新設、  
葉梨小学校区放課後児童クラブ



市民クラブ

八木 勝 議員



**問** 市境の問題・課題解決について、市長に伺う。

**答** 以前、島田市が上流、藤枝市が下流で、島田市が水路を直したいという案件があり、即座に島田市の安全のために協力すると答えた。私は市と市、市とまち、これからは絶対に広域連携ということが必要。そのことについて真気で話し合っていく、そういうようなことが重要だと思っている。提出された資料(※1・2)を見れば、い

## 市境の社会資本整備の 課題解決について

かにも危険。消防車も救急車も入れません。私はこのことについて、全力で、出来る様に考えてみたい、(私自身が)まだ中に入って考えたことがないので、ちょっと歩いてみてやってみたいと思っています。



※<sup>1</sup>晴れた日の  
現場写真

※<sup>2</sup>雨の日の現場写真

## 第6次総合計画「幸せになるまち」と選ばれるまちについて

**問** 第6次総合計画の基本理念にある“幸せ”の意味について、市長のお考えを伺う。

**答** 私が思う幸せは、人にはそれぞれ価値観というものさしがある。このものさしの目盛りというのはその人々が歩んで来たこれまでの人生によって大きく変わっています。そういうような中で幸せを感じる人は、人は幸せを感じる尺度が違うんです。しかし、誰でも幸せという定義があるんです。それは何かと言ったら、「やすらかな心」それから「身

の楽をいただいた時」に私たちは本当に本当の意味で生きる喜びをいただけるように思います。そういうことを考えてみますと、すなわち、健康で安心して暮らせる。その上で、将来に希望を持つことが出来る。子供のこと、自分のこと、老後のこと、自分のこれからの目的、希望を持てること。そういうようなまちを私は幸せを実感できるまちだという風に思っている。そのことを市政の重要なテーマに挙げ共有していきたいと思っている。



藤新会  
油井 和行 議員



## 中心市街地再開発事業と 藤枝駅周辺整備について

【駅前一丁目9街区、一丁目6街区の進捗と計画】

問 再開発後の駅周辺のビジョンについて。

答 「藤枝駅前地区市街地総合再生計画」の中で、9街区を「街なかサービス支援拠点（住宅供給と併せ、交流コミュニティ拠点づくり）」とし、

6街区を「街なか居住支援・コミュニティライフ拠点（利便性の高い住居機能と商業機能の複合化）」として進める。「職住近接」の環境づくりとし、コアワーキング交流スペースと駅前駐車場で進める広域拠点施設など、多様な仕事環境の活動拠点づくりを進める。

## 防災減災に向けた治水対策について

問 流域治水における具体的な対策について。

答 河川管理者が行う河川改修など治水対策に加え、雨水の貯留や浸透などの流出抑制策を新たに検討し、住民の防災意識向上、自主的・的確な防災行動を結びつけるソフト対策を流域ごと総合的に取り組む。

問 各家庭に「雨水貯留タンク」を設置することで、集中的な豪雨時も河川に流れ込む抑制をできる。地区単位での設置により大きな効果を発揮するが、設置補助金があれば普及促進に繋がるが如

何か？

答 浸水常襲地帯（若王子、法の川、黒石川沿線）の地元の意向を伺いながらモデル的に国1/2市1/2として、地元負担を掛けない実証を検討している。



200L雨水貯留タンク  
カーポートに設置



無会派  
天野 正孝 議員



## 汚水処理施設使用の 住宅団地等の取り扱い

問 民間団地の汚水処理施設を公共下水道に接続した事例及び今後接続しようとする事例を伺う。

答 公共下水道に接続した団地は、藤岡団地や新南新屋団地など14団地あり、接続の際に処理施設の廃止や管きょの更新を行っている。今後接続予定の団地は平島団地である。

問 公共下水道の全体計画区域外にある民間団地の汚水処理施設への市の支援策を伺う。

答 1案は、設備更新費用の1/2を補助する環境省の事業を活用し、地元の積立金を原資として、現施設をこれまでと同様の形式で更新する。2案は、団地の処理施設から各家庭での処理に切り替えるための個別合併浄化槽を設置する方法で、住民全員の合意が必要となるが、本市独自の支援策として一戸当たり20万円を交付する。今後各団地の状況を踏まえ、特に設備更新や管理を積極的に実施している団地に対し、情報交換をしっかりと行い、環境省補助の案も考えながら、市で管理する状況により近い環境づくりを考えていく。

## ヤングケアラーへの教育と福祉の連携対応

問 教育と福祉の連携の実態について伺う。

答 平成28年度から子ども家庭課と教育委員会を同フロアに配置している。潜在しがちなケアラーを早期発見するため、教職員等の理解促進を図るための研修会を実施し、学校と福祉部局が一緒になって家庭の状況や、悩みを受け止め対応している。支援が必要なケアラーは「要保護児童対策地域協議会」で支援方針等を協議し、家庭に合わせた支援を実施している。今後の取組としては、義務教育以降にケアラーになる場合、自覚がないまま大きな負担を抱えている場合の支援を行い、また、教育委員会をはじめとした関係機関と多角的視点から対策に取り組む。



# 議会は藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



【お問い合わせ】 議会事務局 ☎643-3552

## 6月定例会議会

6月定例会議会は、6月6日から6月28日までの23日間で開かれる予定です。

- 6月 6日 本会議1日目★ 議案上程等
- 14日 本会議2日目★ 一般質問
- 15日 本会議3日目★ 一般質問
- 16日 本会議4日目★ 一般質問・議案質疑等
- 17日 現地審査
- 20日 常任委員会
- 21日 常任委員会
- 28日 本会議5日目・採決等★



★藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。  
※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での傍聴の人数制限を行う場合がありますのでご了承願います。

### 応募写真コーナー



五月晴れと藤の花（蓮華寺池公園ふじの里）  
撮影：吉田 征一さん



藤の花ステンドグラス（市役所玄関ロビー）  
撮影：小長谷 充朗さん



花菖蒲（蓮華寺池公園）  
撮影：寺田 清さん

# 表紙の写真・イラスト等募集！ テーマ「夏」

市議会では、年4回（6月・8月・11月・2月）「ふじえだ市議会だより」を発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を集めます。

## ● 募集する写真・イラスト等

- **写真の場合**…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

## ● 応募方法

住所・氏名（フリガナ）・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

## ● 応募上の条件

- **写真の場合**…市内で撮影されたもの。
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

## ● 選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

## ● 応募の締め切り

8月5日号の締切

⇒令和4年6月14日(火)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

## お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）  
住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1  
電 話：054-643-3552  
メー ル：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



## 編集後記

市議会広報広聴委員会で編集している市議会だよりも、藤枝市議会第17期としては最後となりました。

本年度も、2019年に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で、議場への入室制限や傍聴者の制限、現地審査などの市内視察も感染防止のため制限を受けたり、広報広聴委員会が担当するタウンミーティングも縮小を余儀なくされたりと少なからず影響を及ぼした一年でありました。

感染症防止にご尽力いただいている医療従事者の皆様や関係者に敬意と感謝を申し上げます、1日も早い終息を願うばかりであります。

そのような中、広報広聴委員会としても限られた情報発信ツールを最大限に活用すべく、市議会だよりの編集に取り組んでまいりました。

市議会だよりの題字を中学生に書いていただいたり、紙面構成にも注力し、時には市民の皆さまにも感想をお寄せいただき登場していただいた。

今後は、フェイスブックなどSNSを更に活用しながら若い世代への発信にも力を注ぎ、情報発信に努め、市民の皆さまに提供できるよう、広報広聴委員会一同、頑張っております。

広報広聴委員会委員 山本 信行

